

日本興亜9条の会たより

電話(携帯) : 090-6523-1351

e-Mail : nw1951@lily.ocn.ne.jp

憲法が活かされ根付く“くに”に



7年8カ月に及んだ「アベ政治」が終わりを告げました。持病の悪化がきっかけとはいえ、諸施策の行き詰まりによる敗北宣言とみるべきでしょう。その背景に市民と野党の共闘による粘り強い追及と行動があったことは言うまでもありません。

安法制(戦争法)、特定秘密保護法、カジノ解禁法、改正組織犯罪(共謀罪)処罰法など、国論を二分するような法律をほとんど協議もせず数の力で強行成立させたり、モリ・カケ・サクラ・クワ・カワイアンリと身内の優遇で国政を私物化したり、前代未聞の公文書の隠ぺい・改ざん・廃棄により、憲法の三大原則である国民主権をゆがめてきました。外交面では、米国・ロシア・中国などの大国に翻弄され、日韓・日朝関係でも成果を得られませんでした。沖縄の辺野古基地建設では海底地盤の問題も判明、普天間返還とも絡み、今後重大な課題となるのは論を待ちません。

「歴代最長」の政権は、経済政策「アベノミクス」は多くの国民にとってみるべく成果が無く、コロナ対策では後手を踏み、悲願とした「改憲」にも結局手が付けられませんでした。唯一残したレガシーが「アベノマスク」と揶揄されるような「歴代最悪」の政権であったとって過言ではありません。

後任首相に菅義偉氏が就任しましたが、官房長官として「アベ政治」を共に推進してきた人物ですし、しかも路線継承を明言。「自助、共助、公助」がスローガンですが、行政の根幹であるべき「公助」は最後。国民の自助努力・自己責任を優先して求める姿勢では、コロナ危機を乗り切るリーダーシップは到底期待できません。

早晚、解散・総選挙が浮上してくると思われます。市民と野党の共闘で自公政権に終止符を打ち、憲法が活かされ根付く、国民本位の政治を取り戻すため奮闘しましょう。

11/22(日)損保9条の会講演会へ

11月22日(日)14時10分から損保9条の会第17回講演会を「北とびあ15階・ペガサスホール」で開催しますので、ぜひご参加下さい。

コロナ禍の下、ソーシャルディスタンスを確保し、モニター装置のあるロビーや楽屋も活用して、定員の50%、最大100名規模での開催とします。

詳細は同封の案内チラシを参照下さい。

参加にあたってのお願い

1.できるだけ早めのエントリーを

損保9条の会全体での先着順としますので、予定人数に達した場合お断りさせていただくことがあります。

事務局和田宛、メールまたは電話でまずご一報下さい。

2.感染予防対策やマスク着用にご協力を

受付終了後はロビーにとどまらず、会場内にご入場を。少しでも体調の悪い方は参加をご遠慮下さい。

3.開催できるかどうかは必ず事前確認を

チラシにも記載のとおり講演会の開催自体が流動的な部分があります。**事前に損保9条の会ホームページ(アドレスはチラシに記載)か事務局和田宛ご確認下さい。11月10日頃には最終判断します。**

4.恒例の懇親会は見送りに

懇親会場の予約は今回行っておりません。講演会終了後、希望者のみで開催を検討します。

お手元の署名用紙をご提出下さい

年初より取組んだ「安倍改憲NO!改憲発議に反対する全国緊急署名」は305筆を国会に提出。損保9条の会全体では1,200筆強を集約済みです。

安倍首相の辞任で状況が大きく変わりましたが、自民党は改憲をあきらめた訳ではありません。新しい情勢に見合った署名用紙が作成されることになると思います。皆さまのお手元に記入済の署名用紙があれば、事務局の和田宛速やかにご返送下さい。